

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

2012/11/16

日本ライフライン株式会社

第2四半期決算報告 **通期業績予想**

専務取締役管理本部長
政次 浩二

1. 売上高は前年同期比 6.6%減少

- － 保険償還価格の引下げ
- － AGAメディカル社商品の販売終了

2. 売上総利益率は前年同期並みを維持

- － 当期は0.7ポイントの低下
- － 自社製品の売上構成比率の増加

3. 営業利益は前年同期比 62.3%減少

- － 保険償還価格の引下げによる売上高減少

4. 特別利益の計上

- － AGAメディカル社商品の薬事関連業務の対価等

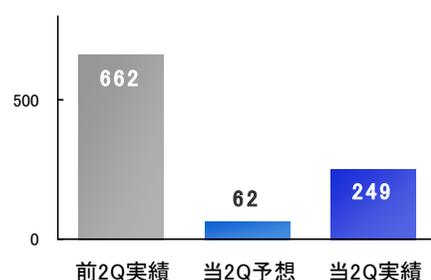
第2四半期累計 連結業績

(単位:百万円)	前期2Q	当期2Q('13/3期)			
	実績	予想	実績	前年同期比	予想比
売上高	11,573	11,005	10,813	△6.6%	△1.8%
営業利益	662	62	249	△62.3%	301.9%
経常利益	646	54	246	△61.8%	350.4%
当期純利益	413	81	218	△47.1%	168.5%

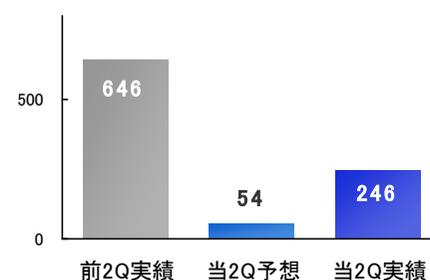
-売上高-



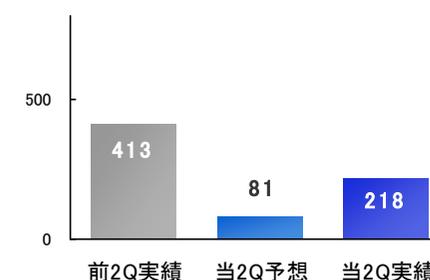
-営業利益-



-経常利益-

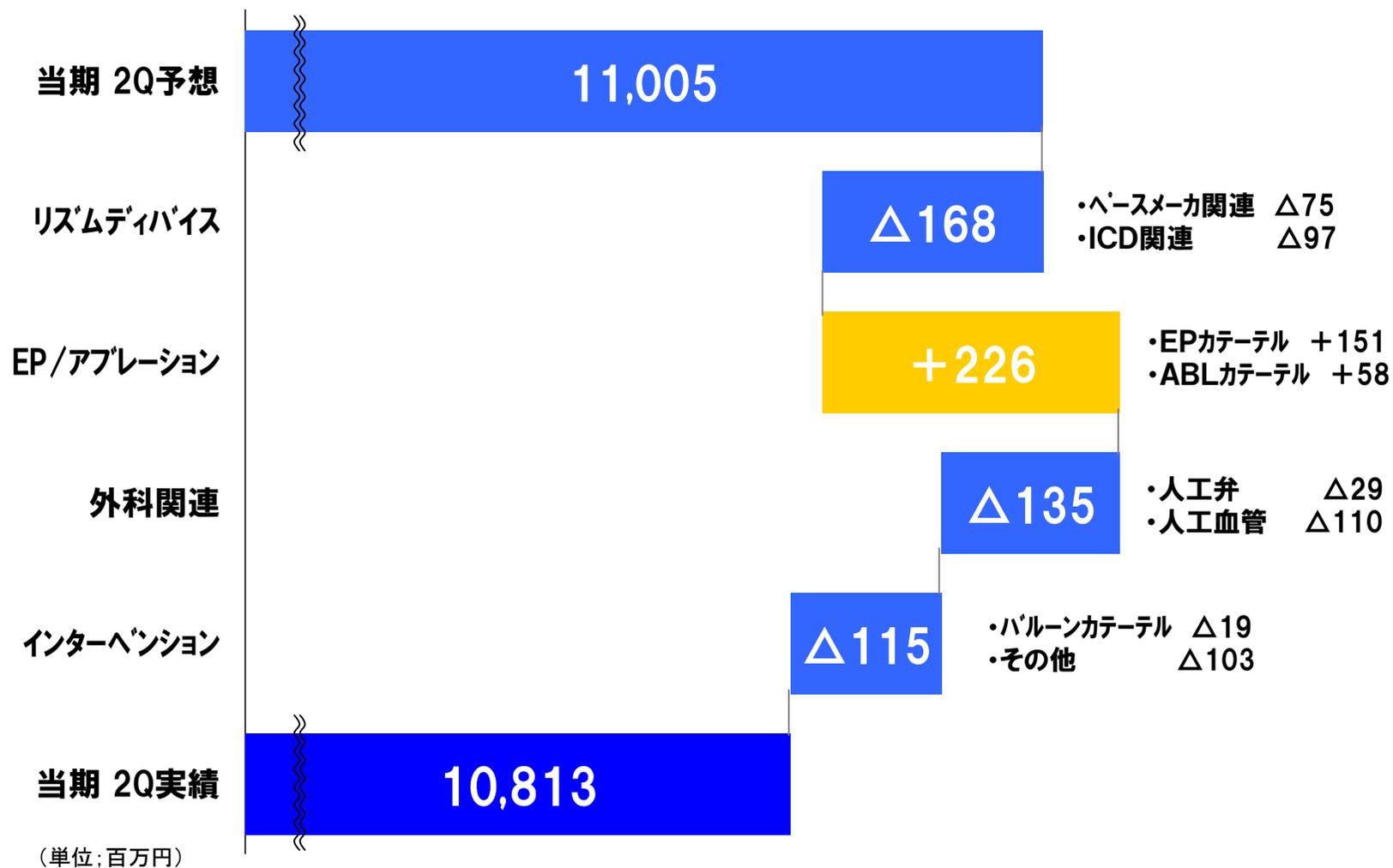


-当期純利益-

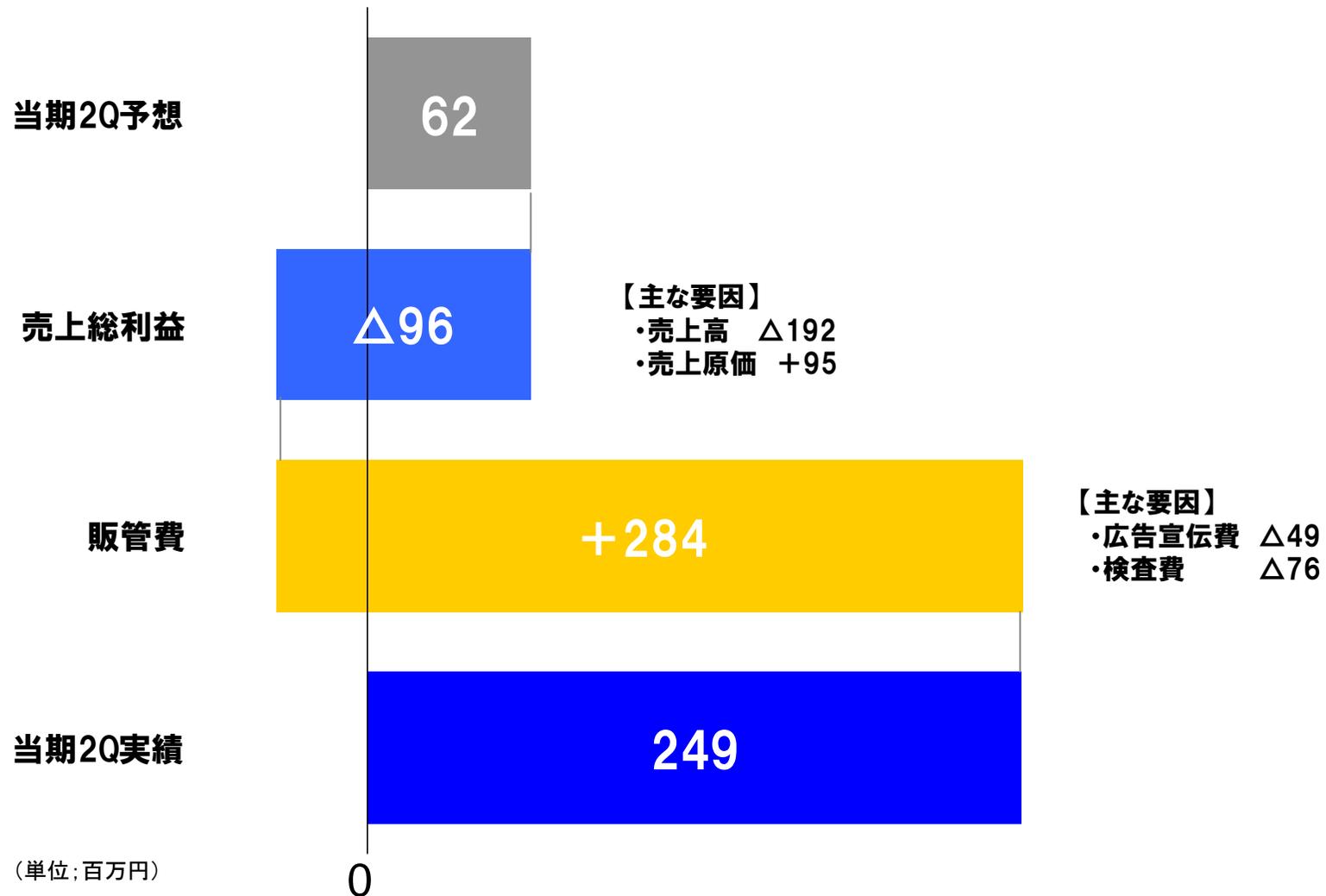


(単位:百万円)

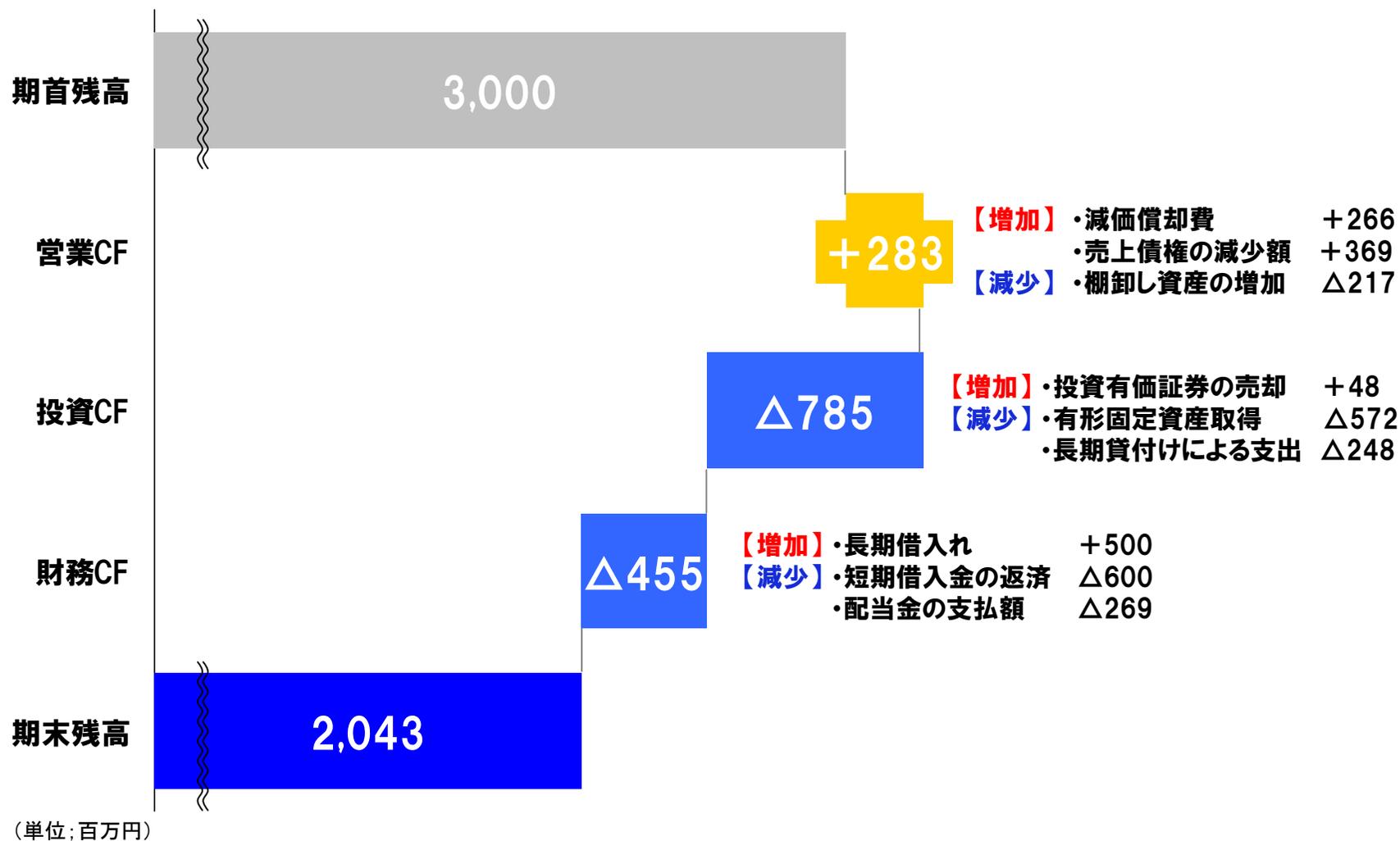
予想差異 $\Delta 192$ 百万円(1.8%減)



予想差異 187百万円(301.9%増)

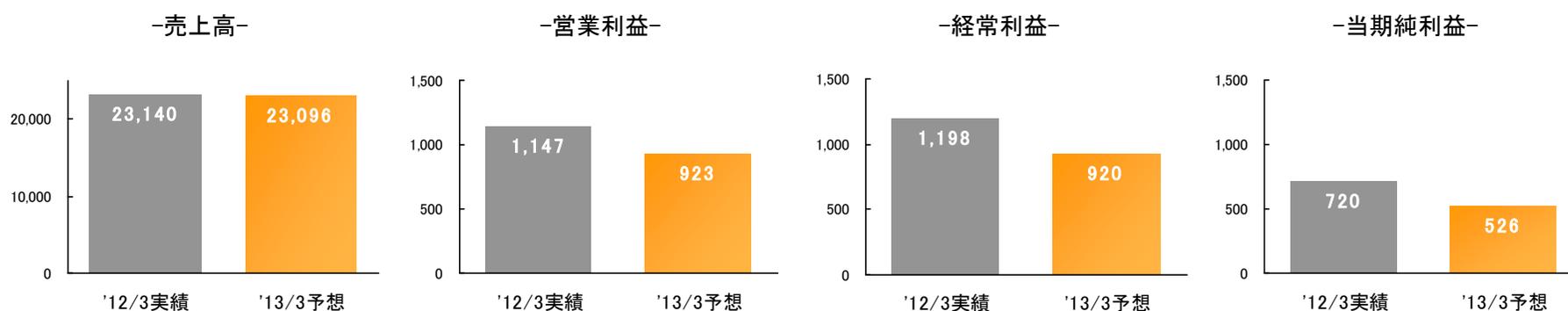


現金及び現金同等物 $\Delta 957$ 百万円



2012年3月期 連結業績予想(変更なし)

(単位:百万円)	2012/3(通期)		2013/3(通期)		
	実績	構成比	予想	構成比	増減率
売上高	23,140	100.0%	23,096	100.0%	△0.2%
営業利益	1,147	5.0%	923	4.0%	△19.6%
経常利益	1,198	5.2%	920	4.0%	△23.2%
当期純利益	720	3.1%	526	2.3%	△26.9%



(単位:百万円)

(資料)連結要約損益計算書

(単位:百万円)	2012/3期				2013/3期			
	2Q累計実績		通期実績		2Q累計実績		通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	11,573	100.0%	23,140	100.0%	10,813	100.0%	23,096	100.0%
売上原価	5,667	49.0%	11,198	48.4%	5,377	49.7%	11,349	49.1%
売上総利益	5,906	51.0%	11,942	51.6%	5,435	50.3%	11,746	50.9%
販管費	5,243	45.3%	10,794	46.6%	5,185	48.0%	10,823	46.9%
営業利益	662	5.7%	1,147	5.0%	249	2.3%	923	4.0%
営業外収益	30	0.3%	87	0.4%	42	0.4%	44	0.2%
営業外費用	47	0.4%	36	0.2%	45	0.4%	47	0.2%
経常利益	646	5.6%	1,198	5.2%	246	2.3%	920	4.0%
特別利益	244	2.1%	464	2.0%	248	2.3%	221	1.0%
特別損失	16	0.1%	70	0.3%	55	0.5%	0	0.0%
税前利益	875	7.6%	1,592	6.9%	439	4.1%	1,141	4.9%
法人税等	461	4.0%	872	3.8%	221	2.0%	615	2.7%
純利益	413	3.6%	720	3.1%	218	2.0%	526	2.3%

(資料)品目別 連結売上高

(単位:百万円)	2012/3期		2013/3期			
	2Q累計実績	通期実績	2Q累計実績	通期予想	前期比	
ペースメーカー関連	4,640	8,983	4,053	8,216	△8.5%	
I C D 関連	681	1,395	636	1,646	17.9%	
その他	48	98	46	98	△0.3%	
リズムデバイス計	5,370	10,478	4,737	9,960	△4.9%	
EPカテーテル	1,565	3,267	1,893	3,969	21.5%	自社製造製品
ABLカテーテル	855	1,752	828	1,516	△13.5%	自社製造製品
その他	52	102	56	127	24.6%	自社製造製品
EP / ABL 計	2,474	5,122	2,778	5,613	9.6%	
人工弁関連	319	635	324	822	29.4%	
人工肺関連	202	385	213	389	1.0%	子会社販売商品含む
人工血管	636	1,399	646	1,554	11.1%	子会社製造製品
その他	0	0	0	13	-	
外科関連計	1,158	2,420	1,183	2,779	14.8%	
バルーン	699	1,430	584	1,251	△12.6%	
ガイドワイヤー	240	506	305	668	32.0%	自社製造製品
アンプラッター	401	634	7	0	△100.0%	
その他	519	1,074	494	1,213	12.9%	フィルタラップ含む
インターベンション計	1,860	3,647	1,392	3,132	△14.1%	
その他	709	1,472	721	1,609	9.3%	子会社販売商品
合計	11,573	23,140	10,813	23,096	△0.2%	

(補足データ)

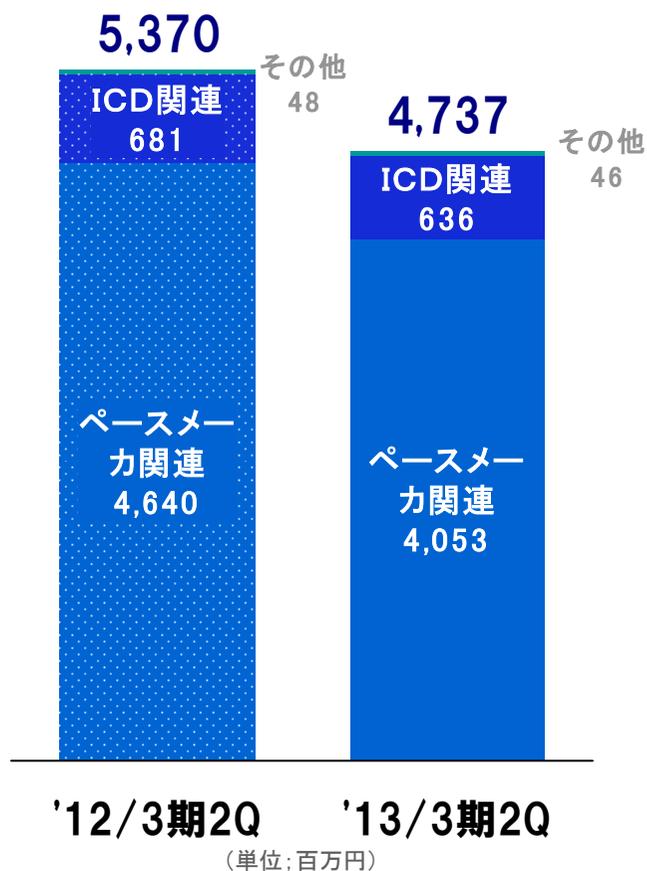
(単位:百万円)	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期 予想
設備投資額	460	502	2,089	1,715	1,217
減価償却費	253	279	301	383	599
研究開発費	276	381	372	517	507
期末従業員数 (名)	(単)430	(単)453	(単)479	(単)509	(単)525
	(連)488	(連)515	(連)546	(連)581	(連)608

事業の概況 今後の見通し

代表取締役社長
鈴木 啓介

売上高 前年同期比

△11.8%



‘13/3期 2Q実績

ペースメーカー 売上高は減少

- 販売数量は前期水準を維持
- 保険償還価格の引下げ率
主力モデル13.8%
- 売上高 前年同期比12.6%減

ICD関連は競争が激化

- 本体 販売数量は微増
- ICDリード 販売数量は減少
- 売上高 前年同期比6.5%減

ペースメーカーは基本性能を訴求

–「REPLY」

- コンパクト： 厚さ6.1mm 容積8.0cc 重さ20g
- 長寿命： 10年を超える長い電池寿命

(※REPLY DR 仕様)



心臓ペースメーカー
「REPLY」

CRT-Dはシェア獲得に注力

–「PARADYM2 CRT-D」

– 独自機能 BTO (Brady-Tachy-Overlap)

- ペーシングと頻脈治療の範囲を
重ねた設定が可能
- 運動制限の緩和により
心臓リハビリテーションの促進に寄与



CRT-D(除細動機能付き
両心室ペースメーカー)
「PARADYM2 CRT-D」

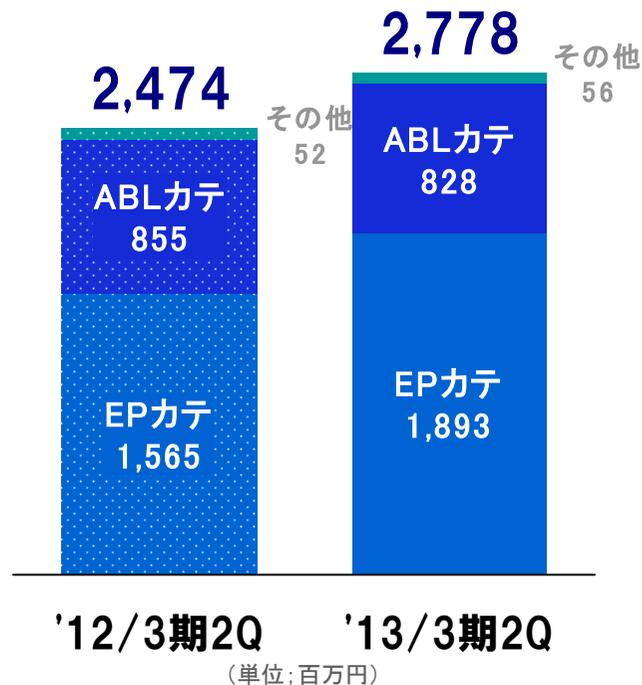
売上高 前年同期比

+12.3%

'13/3期 2Q実績

EPカテーテルが好調に推移

- 販売数量 前年同期比30.6%増
- 保険償還価格の引下げ率 9.0%
(電極数6~19の製品)
- 売上高 前年同期比20.9%増



ABLカテーテルの売上高は減少

- 販売数量 前年同期比6.8%増
- 保険償還価格の引下げ率9.7%
- 売上高 前年同期比3.2%減

‘13/3期 通期

新製品の寄与を見込む

- EPカテーテル売上高予想 3,969百万円(前期比21.5%増)
- 心腔内除細動システム「SHOCK AT」が寄与
- 10月1日より保険適用

SHOCK AT

SHOCK AT用ジェネレーター



希望小売価格 198万円

BeeAT

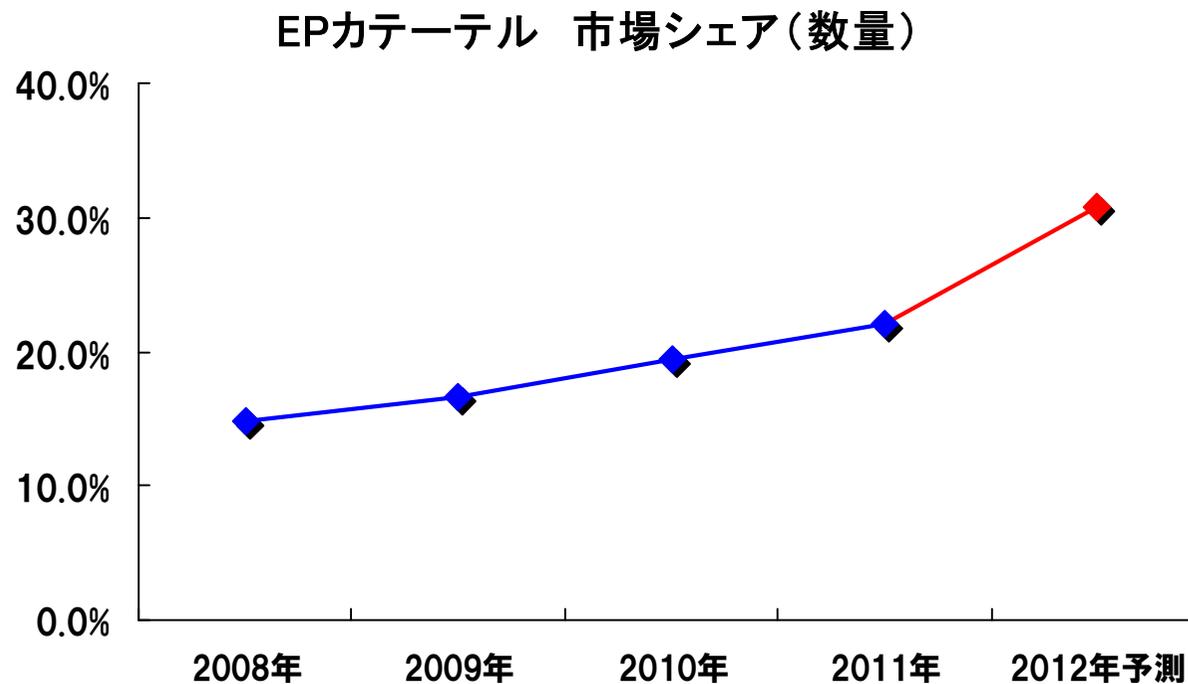


保険償還価格

229,000円

心房細動治療の増加を背景に伸長

- 「EPスター・リベロ」などが伸長
- EPカテーテルは市場シェア30%を目指す



(アールアンドディ社 医療機器用品年鑑 2012年版を元に自社推計)



EPカテーテル
「EP Star Libero」

売上高 前年同期比

+2.1%



'13/3期 2Q実績

人工弁輪が順調に販売数量を伸ばす

- 人工弁輪「MEMO 3D」
- 本年2月発売
- 機械弁の減少をカバー



人工弁輪「MEMO 3D」

人工血管は価格引下の影響を吸収

- 国産製品としては唯一の人工血管「J Graft」
- 販売数量 前年同期比4.3%増



‘13/3期 通期

生体弁の発売が寄与

- 人工弁関連 売上高予想 822百万円(前期比29.4%増)
 - 生体弁「Mitroflow」
 - 近日中にも薬事承認取得の見通し 発売予定: 来年1月
 - 機械弁での実績を活かし、早期のシェア獲得を図る
-
- 「Mitroflow」特長
 - 広い弁口面積による優れた血行動態
 - 低い弁高による狭小弁輪への植込み易さ
 - 30年に及ぶ臨床実績

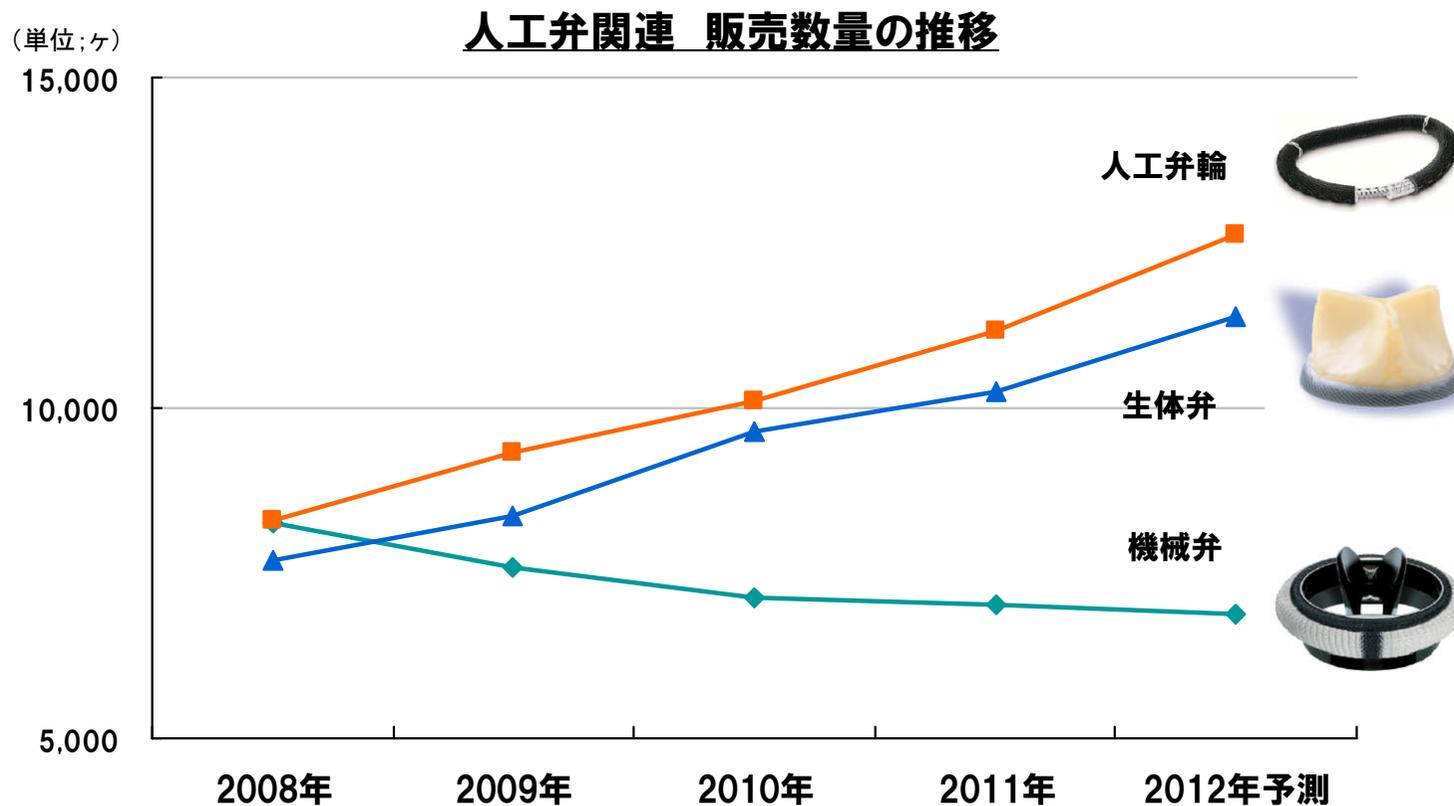


生体弁「Mitroflow」

保険償還価格(予想) 907,000円

人工弁関連は成長への準備が整う

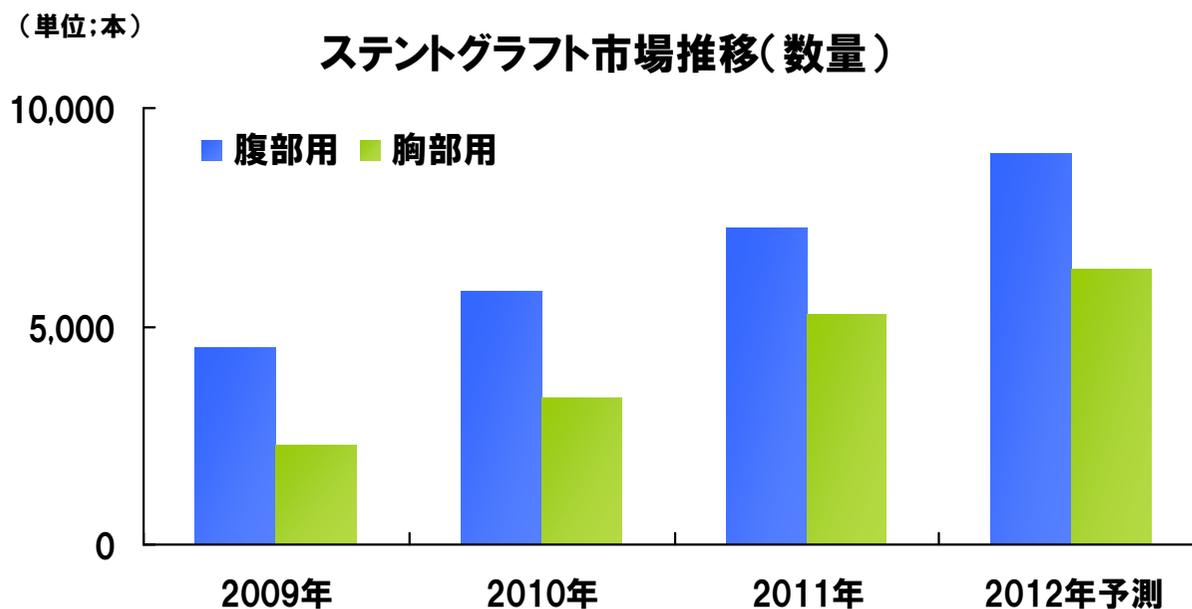
- 機械弁に加え、人工弁輪、生体弁を上市
- 成長市場への参入を果たす



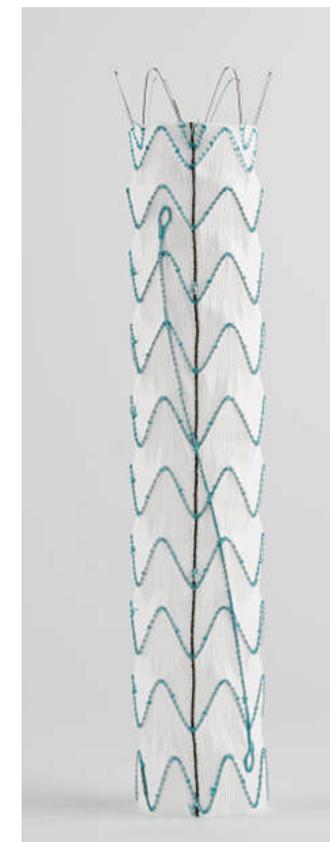
(アールアンドディ社 医療機器用品年鑑 2012年版を元に作成)

ステントグラフトの早期導入を目指す

- 市場は年20~30%のペースで急速に拡大
- 胸部用ステントグラフト「RELAY」
- ボルトンメディカル社(スペイン)製品
- 来期上半期の上市を目指す



(アールアンドディ社 医療機器用品年鑑 2012年版を元に作成)



胸部用ステントグラフト
「RELAY」

売上高 前年同期比
(現行取扱品ベース)

△5.1%



※上記のほかアンプラッツァー売上高として、
前期は401百万円、当期は7百万円があります

'13/3期 2Q実績

バルーンは大幅な公定価格引下げ

- 販売数量 前年同期比3.0%増
- 保険償還価格 引下げ率20.9%
- 売上高 前年同期比16.3%減

ガイドワイヤーは新製品が寄与

- 売上高 前年同期比26.9%増
- 「ATHLETE JOKER」

構造的心疾患治療器具は販売終了

- アンプラッツァー 昨年12月で終了

ガイドワイヤーの新製品が寄与

- ガイドワイヤー販売数量は前年同期比38.9%増
- 冠動脈用ガイドワイヤー「ATHLETE JOKER」
- 独自の構造による高い耐久性と優れた操作性



‘13/3期 通期

バルーンはハイプレッシャータイプを拡販

- 販売数量は11.1%増加の見通し
- 売上高予想 1,251百万円(前期比12.6%減)

ガイドワイヤーは末梢用の新製品を導入

- 売上高予想 668百万円(前期比32.0%増)
- 成長領域として強化

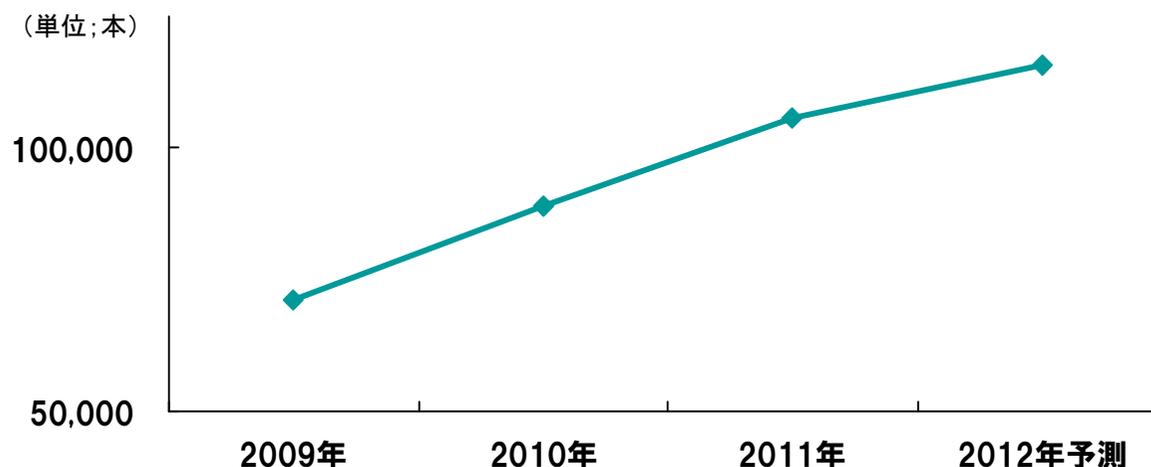
ベアメタルステント「S-Stent」発売

- Biosensors社製(シンガポール)
- バルーン、ガイドワイヤーとのシナジー効果を見込む

末梢用ガイドワイヤーを強化

- PPI(経皮的末梢血管インターベンション)の市場は拡大傾向
- 末梢用ガイドワイヤー新製品
「Paddler(パドラー)」、「GLAIVE(グレイブ)」
- 大腿動脈狭窄、腸骨動脈閉塞等の症例が対象
- 今期末から来期にかけての上市を目指す

末梢用ガイドワイヤー 市場推移(数量)

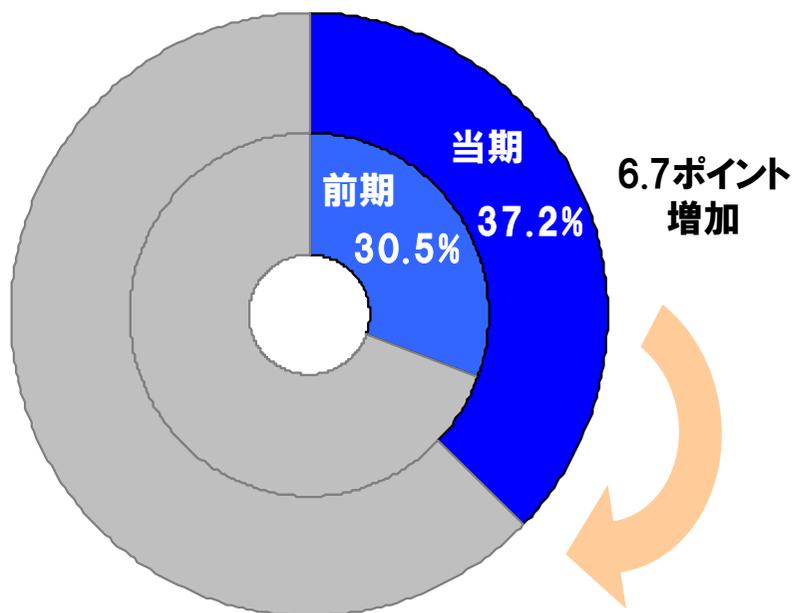


(アールアンドディ社 医療機器用品年鑑 2012年版を元に作成)

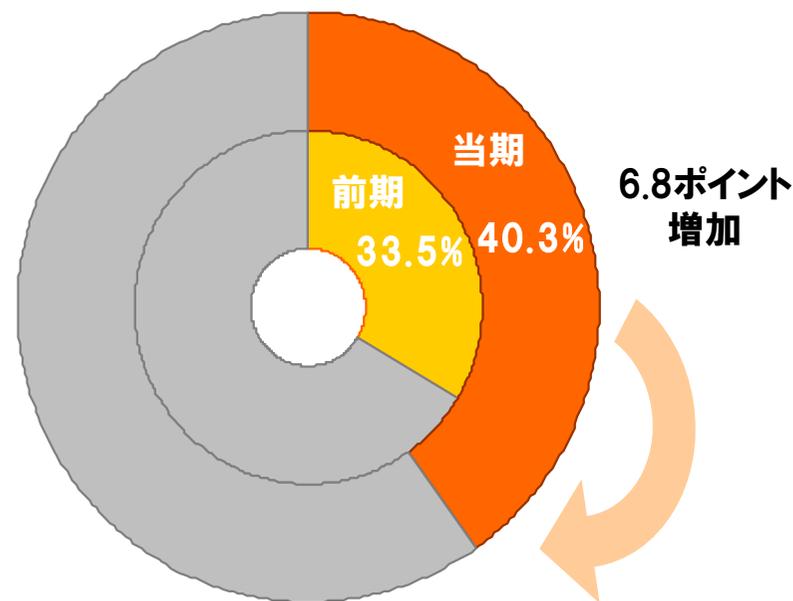
自社製品の業績への貢献度が高まる

- '13/3期 2Q実績 売上高（単体ベース）
3,721百万円（前年同期比13.2%増）

自社製品 売上構成比



自社製品 粗利構成比



※自社製品にはEPカテーテル、アブレーションカテーテル、ガイドワイヤーに加えて、子会社製品の人工血管を含めています。

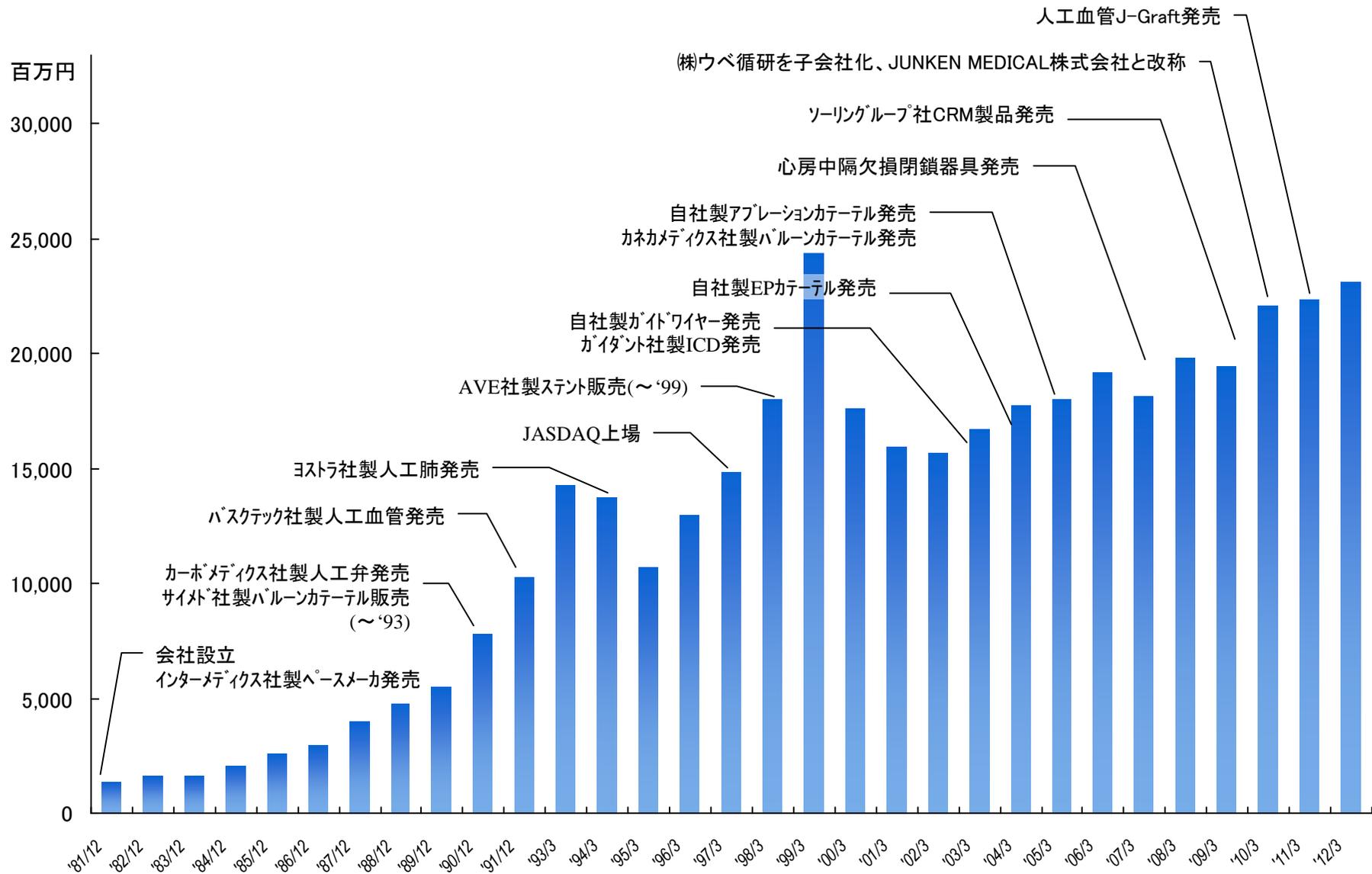
End of Presentation

- 会社概要 -

会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木 啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
上場	1997年12月8日(JASDAQ)
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結 581名/単体 509名(2012年3月末現在)
事業所	営業拠点(33ヶ所)、ディストリビューションセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、天王洲ACCADEMIA(研修センター)

当社歴史と売上高の推移



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の5つに大別されます。

EP/アブレーション

不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル(細い管)を扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカ
ICD
CRT-D
ホルター心電計

リズムデバイス

不整脈(心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態)を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
心腔内除細動カテーテル
アブレーションカテーテル

心臓循環器

外科関連

人工血管
人工心臓弁
人工弁輪
人工肺関連

その他
(子会社販売商品)
血液浄化関連商品

インターベンション

カテーテル(細い管)を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

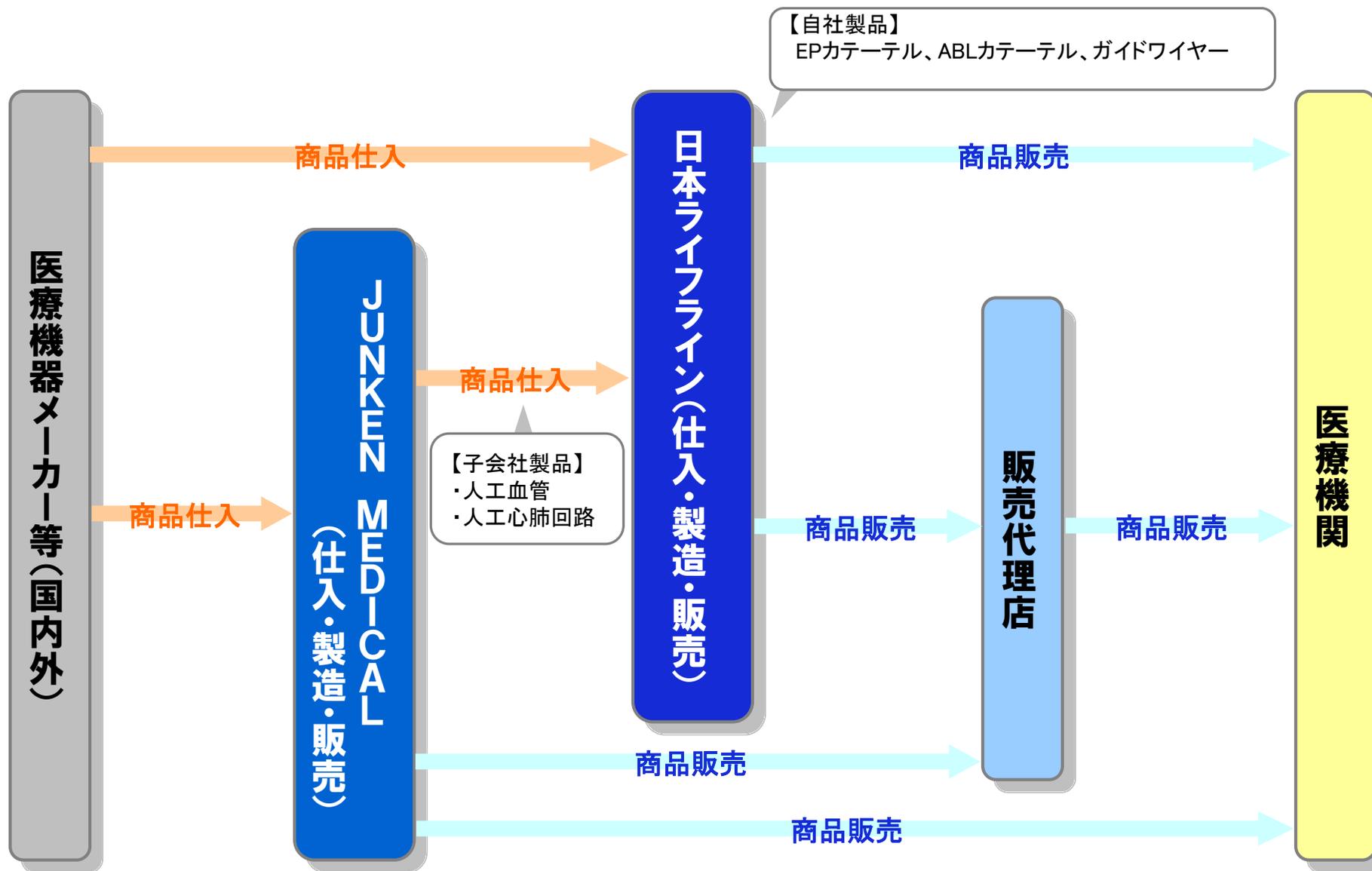
インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
血栓異物除去カテーテル

外科関連

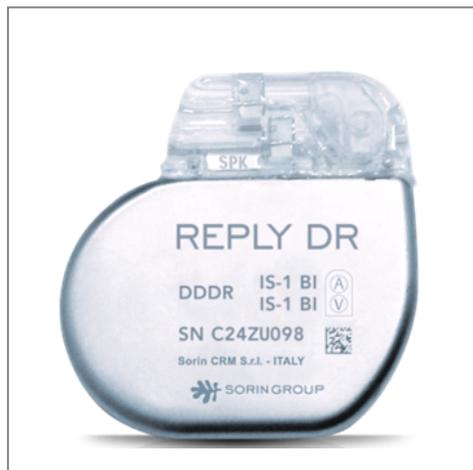
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

事業の系統図



心臓ペースメーカー

(SORIN GROUP社製)

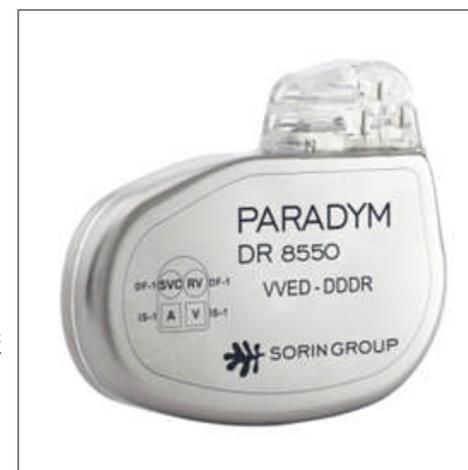


心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD(植込み型除細動器)

(SORIN GROUP社製)



CRT-D(除細動機能付き両心室ペースメーカー)

(SORIN GROUP社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

長期間にわたって心電図を記録することで、短時間では出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

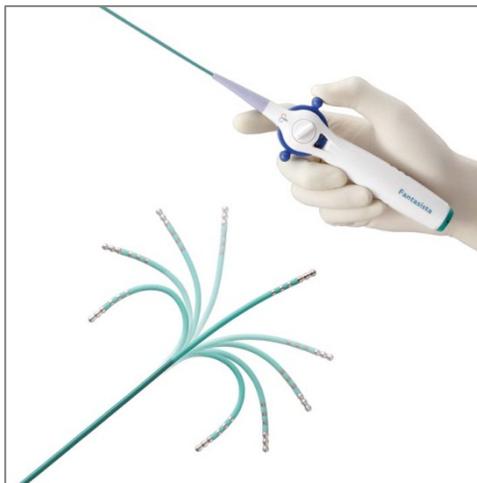
イベントレコーダー

(SORIN GROUP社製)



アブレーションカテーテル

(自社製品)



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることにより治療します。



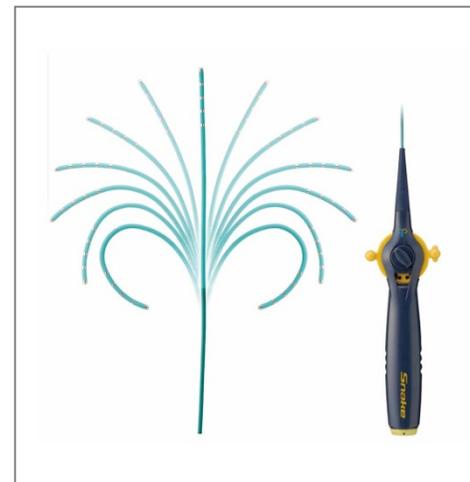
心腔内除細動カテーテル

(自社製品)



EP(電気生理用)カテーテル

(自社製品)



不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

人工心臓弁

(SORIN GROUP社製)

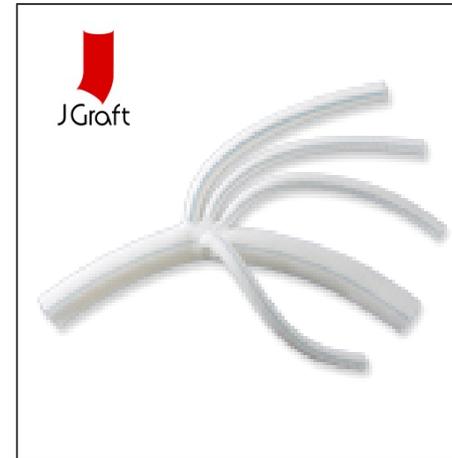


心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

動脈瘤(動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する)などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。

人工血管

(JUNKEN MEDICAL社製)



人工弁輪

(SORIN GROUP社製)



心臓弁の疾患に対し、人工心臓弁に置き換えずに、自己の弁を温存し縫合等により治療する際に使用します。

心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

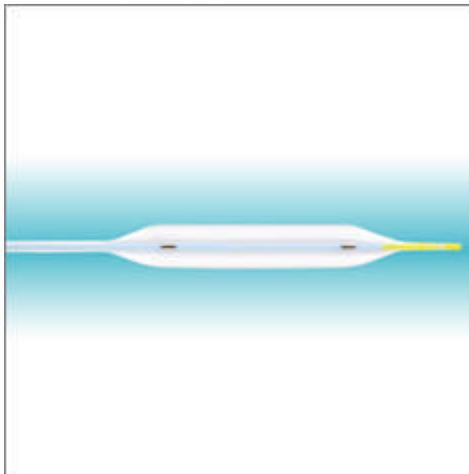
人工肺

(SORIN GROUP社製)



バルーンカテーテル

(カネカメディックス社製)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船(バルーン)を拡張させ、再度血流を確保します。

ガイドワイヤー

(自社製品)



バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

血管内異物除去用カテーテル

(ニプロ社製)



血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営管理部

TEL: 03-6711-5214

E-Mail: ir@jll.co.jp

URL: <http://www.jll.co.jp>